

でみる

EPSグループの強み

2015年1月1日、当社グループは持株会社体制に移行しました。
新たな飛躍を目指す新生EPSグループの強みを、改めて紹介します。

Q1 医薬品開発市場での役割は？

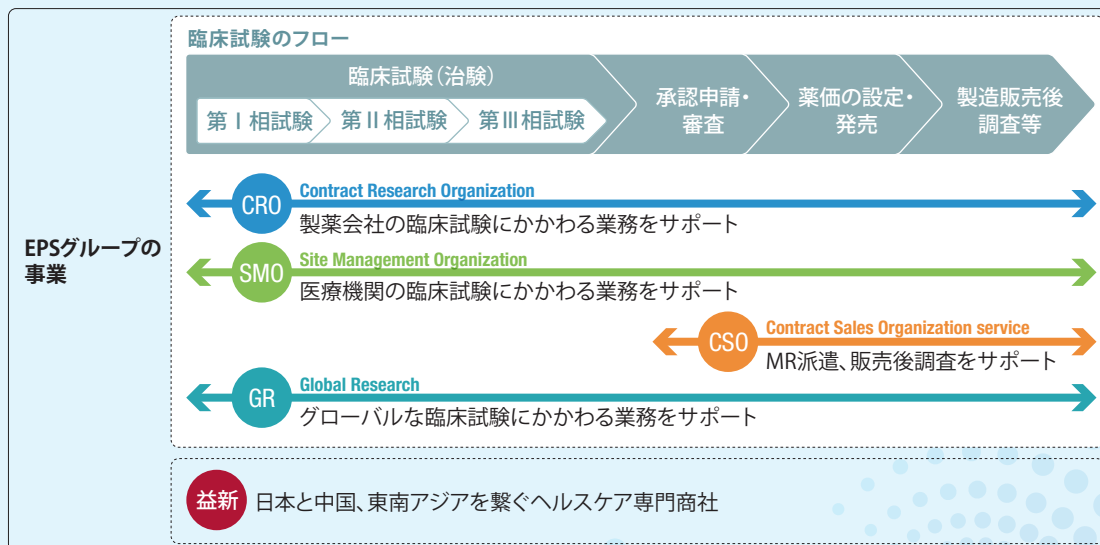
A1 医薬品の開発から販売後まで、製薬会社と医療機関をフルサポートできる存在です

CRO事業では臨床試験の治験実施計画書の企画から販売後調査まで、製薬会社の開発業務をフルサポートしています。SMO事業では臨床試験を担う医療機関の治験業務を支援、CSO事業ではMR派遣に加えDI(医薬品情報管理)・コールセンターの業務支援サービスなどを展開して

います。加えて、Global Research (GR) 事業では海外の臨床試験をサポートしています。

このように新薬にかかわる業務をすべてカバーする事業領域で、迅速かつ高品質な医薬品の開発から販売後の支援までをトータルにサポートできることが、EPSグループの強みの一つです。

EPSグループの事業



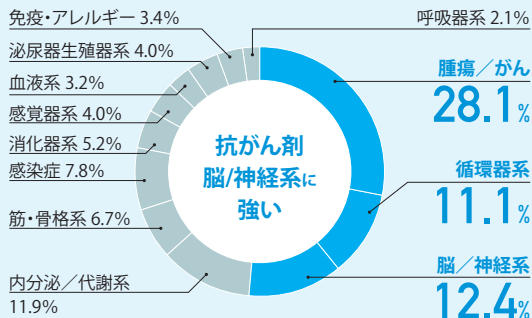
Q2 医薬品のなかで得意とする分野は？

A2 がんをはじめ新薬開発ニーズが高い分野で数多くの実績があります

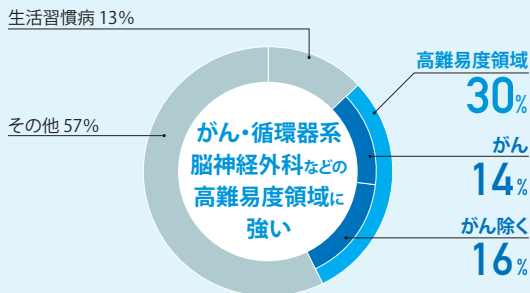
EPSグループは、CRO事業において1994年に厚生労働省から抗高脂血症薬の市販後臨床試験を受託して以来、大規模・長期の受託実績を積み重ねてきました。なかでも多いのが、抗がん剤をはじめ循環器系疾患、脳／中枢神経系疾患の

領域です。SMO事業においても、がん、循環器系、脳神経外科など高難易度領域に強く、がん領域で群を抜く受託件数を有しています。今後の新薬開発のターゲットであるこれらの成長分野で高い実績と信頼を培っています。

CRO事業受託領域 (2014年9月末現在)



SMO事業領域別売上高構成比 (2014年9月末現在)



Q3 海外でも活躍しているの？

A3 アジアでの強固な基盤に欧米を加えたグローバルな事業体制を確立しています

EPSグループは、2001年に中国で初の日系CRO企業として事業を開始し、以来アジアを中心に臨床開発支援サービスを提供してきました。さらに欧米CROとの業務提携を進め、これらのネットワークを活用して、今日、グローバル規模の医薬品開発業務をサポートしています。

また、中国でヘルスケア分野の専門商社として、日本と中国、東南アジアをつなぐ益新事業を展開し、成長を続けています。

